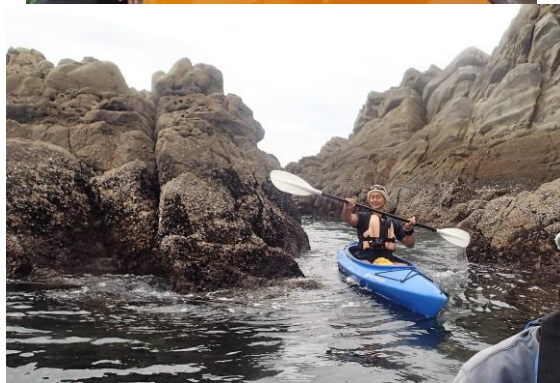


# お試し移住から定住へ

魚貫崎の自然と文化を守り伝える会は熊本県天草の温暖な気候と豊かな自然の中で一緒に地域を盛り上げながらスローライフを楽しんでくださる方を募集しておりました。この秋より時々訪ねていただいた方たちが定住の運びとなりましたのでご紹介いたします。



ダイビングインストラクターでもある熊本市内在住のお二人は夏の終わりにこの魚貫崎の美しい風景に吸い寄せられるように訪れられました。お試し移住中はもっぱらフットパスコースを歩いたりカヤックで海の散策、生まれて初めての魚釣り体験という過ごし方でした。11月にはハイヤ大橋の美しい海彩館のイベント広場で魚貫崎の加工食の試食会の手伝いをさせていただき、牛深の方たちとの交流で人の暖かさも実感されて移住を決断されたそうです。今月12月に先ずは男性が市営住宅に入居となりました。これからの予定は、自然を大切にする思いを込めて海や山、文化や暮らしをガイドしていけたらいいなあと話されています。どうぞよろしくお願いいたします。



移住考えているんだけど・・・・・・・・・・。  
天草ってどんなところ？魚貫崎（おにきざき）って？**海辺の暮らし**してみたいなあ。仕事ってあるのかなあ。そんなあなたにお知らせです！魚貫崎の自然と文化を守り伝える会では、魚貫崎の自然と文化を生業にするために頑張っています。そのお手伝いをさせていただきながら**海辺での暮らしを体験**してみたい方を募集いたします。あなたの理想とする**ライフスタイル**とあなたの得意なことを発揮できる**お試し移住**が待っています。詳しくは、下記までどうぞ！

Mail : [bluenanatu@yahoo.co.jp](mailto:bluenanatu@yahoo.co.jp)  
携帯 : 090-8767-9722(武田)



# 魚貫崎タイムス

発行年月日  
2016年12月20日

発行責任者  
魚貫崎の自然と文化を守り伝える会  
会長 大西一元

VOL7

## お知らせ

新聞購読ご希望の方はご連絡ください。郵送いたします  
連絡先 魚貫崎の自然と文化を守り伝える会  
863-1721 熊本県天草市魚貫町4688-1  
事務局 0969-72-8821 担当 武田

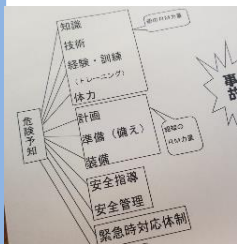


## 釣り体験等の 安全管理 研修会開催



11月23日(水・祝)旧池田小学校でリスクマネジメント研修が開催されました。海の自然体験を安全に楽しんで頂くための研修です。現役漁師さんたち6名が新しい観光漁業を目指そうと参加頂きました。安全管理とは危険に陥らないための準備で防げる部分と、それでも起こってしまう事故に対応できる知識や技術に分けられます。参加者のこれまでのヒヤリハットを発表しその対応策をワークショップ形式で導き出します。事故時の応援要請(118や119・近くにいる人)やAEDの使用など総合的に学ぶことで事故発生時の対応をリアルにイメージができたようでした。そのうえで起こさないための準備、心がけなど実践的に学ぶことが出来ました。お疲れ様でした。

安全に楽しい自然体験を提供するためには大切な研修でした。今後も定期的に行ってまいります。(事務局)



## 廃校活用ネットワークセミナー IN 魚貫崎

11月24日・25日



廊下に貼り出されたみんなの思い



会場は 旧池田小学校 体育館

全国でも廃校の数はどんどん増え社会問題となっていますが私たちの住む魚貫崎で、この廃校を地域で活用していく手立てはないかということでセミナーが開催されました。魚貫崎の自然と文化を守り伝える会大西一元会長のあいさつで始まったこのセミナーには大分や福岡から人口減からの廃校、地域づくりに奮闘している行政職員や鹿児島、阿蘇、球磨郡、美里町から活用事例のパネリストが集まり課題解決へ向けて2日間のワークショップを行ったのです。同窓会というコミュニティを活かした新しい地域づくりを提案して下さった株式会社青い鳥 代表 中村昌史氏は東京よりいらした若い青年実業家で新しい切り口に大変刺激を受けました。天草市地域政策課 移住定住促進係の津崎龍也氏より天草の移住の現状を聞き、温暖な気候で大変住みやすく移住者への支援が充実しており天草は人気の移住先であることを再認識しました。玄関わきには地区住民の廃校に対する思いを募集し貼り出しましたが、皆さんがもっと身近に活用したいという強い思いが有るのだということが分かりました。私たちのこの会の目的をもっと理解していただき地区住民と一緒に活動していければと思います。また来年もいろんな取り組みにお誘いしますのでどうぞお付き合いよろしく願いいたします。(取材・武田)

## 魚貫崎の動植物シリーズ第4回 アコウ



遠見岳入り口近くの千年アコウ

落葉したアコウの木

魚貫崎の海岸道路沿いに大きな木が1本あり、根元近くにはベンチが設置されており憩いの場となっている。中心地区の木は強風で倒れたため、伐り倒されて切り株が残されている。暖帯の熊本県、鹿児島県に多く見られたが、近年は道路の拡幅などにより減少して貴重な存在となっている。熊本県では主に天草地方で見られ、海岸部での防風林、船つなぎ用として植えられて利用されてきたが、現在では海岸道路や護岸工事により、一部が残されるだけになっている。幹や枝から気根が出て独特の雰囲気を出している。アコウの受粉を手助けし、花粉を運ぶのはアコウバチという1種類の小さな昆虫だけである。そして、アコウとアコウバチとの共生関係が成り立つには、アコウの果実の中で育つアコウバチの生長期間は1ヶ月から数か月とされており、育てて果実を飛び出したアコウバチの雌は、数日しか生きられないと考えられている。よって、アコウは1年よりもずっと短い周期で果実をつける必要がある。そのためには、決まった季節に限らない形で果実をつけるアコウだが、どの時期にも結実したアコウの果実が存在するには、近くにある程度の数のアコウの生育が必要と考えられている。寒い冬季がある天草で、そのような関係が成り立つのであろうか。

(協力:天草自然研究会 吉崎和美様)



住みやすさ全国6位の天草市 地域政策課 津崎龍也氏のお話し

夜は魚貫崎の郷土料理試食会。ポーフの白和えが好評です。



### 編集後記

今年も残りわずか。どうぞ皆様良いお年をお迎えください。事務局一同

